

8.21 CIM 解決研究会第 28 回勉強会のご報告

平成 29 年 8 月 21 日

CIM 解決研究会事務局

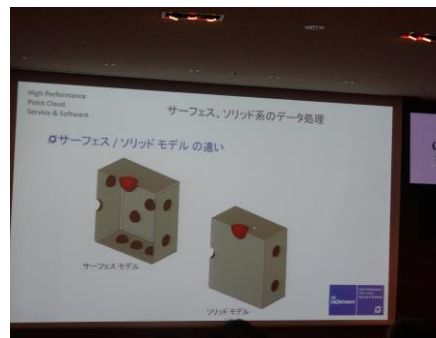
去る紀尾井フォーラムにおいて、42 名の参加者を得て第 28 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

冒頭では当会参事の天本俊正様からご挨拶を頂きました。



「点群からの 3D モデリングに必要なデータタイプとソフト使い分けの知識」 3D GEOKOSMOS 仲泉勝行様

三角メッシュモデルと面・線モデルとの違いや、サーフェスモデルのソリッドモデルへの変換方法等に関するお話を頂きました。参加者の方からは「基礎知識なく受講しましたが、データタイプの種類と、なぜ使い分けが必要か、よくわかりました」といった感想を頂きました。



「各分会の進捗状況報告」 当会 IoT 分科会 山本泰造、吉田誠一 当会 ICT 技術部会 福士幹雄

IoT 分科会からは会の概要並びにレーザーやデータロガー・センサーに関する IoT 活用の事例を、ICT 技術部会からは過去 2 回実施した ICT 情報交換会での活動内容に関するお話を頂きました。参加者の方からは「IoT の一例が判り易く説明されていた」といった感想を頂きました。



「現場の 3 次元化事例等」 当会 齊藤学一、福士幹雄

福士からは、タブレット版 Google Earth の仕様変更等に関するお話をさせて頂きました。齊藤からは、当会で行うドローン教室の概要並びに、助成金の活用による講習費用の補てんに関するお話をさせて頂きました。参加者の方からは「i-Construction 業務の実情について勉強させて頂いているところなので、貴重な事例をお聞き出来良かったです」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には 30 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

